



第158号

まつのだより

令和3年8月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
TEL (0895) 42-0794
FAX (0895) 20-5311

新役員の紹介

6月に開催されました、理事会・評議員会において、任期満了による役員改選が行われ、新しい役員が決まりました。

会長 就任あいさつ



この度、六月二十五日の理事会において、会長に選任されました中森でございませう。副会長ともども、宜しくお願ひ申し上げます。

微力ではございますが、地域福祉の推進、充実に向け、誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、少子高齢化の進展、人間関係の希薄化など社会環境の変化とともに、新型コロナウイルス感染症の広がりによって、人と人とのつながることが極めて難しい状況下で、地域住民等による地域福祉活動やボランティア活動は、休止や延期等による活動自粛を余儀なくされております。

このような状況にあっても、つながりが途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけて、支えあうための工夫や取り組みが求められています。

本会が住民にとって身近な存在となれるよう、役員一同努めてまいりますので、今後とも本会のご活動に対しまして、あたたかいご支援、ご協力をお願い申し上げます。まして就任のご挨拶いたします。

理事・監事・評議員の紹介

- 【理事】 12名 (順不同 敬称略)
- 会長 中森 京司 (学識経験者)
 - 副会長 谷中 洋子 (学識経験者)
 - 井上 六廣 (区長会代表)
 - 曾根 藤光 (民生児童委員協議会代表)
 - 山石 恭助 (福祉ボランティア代表)
 - 岩城 義治 (身障者福祉協議会代表)
 - 曾根 恵 (人権対策協議会代表)
 - 古谷 敏子 (人権擁護委員代表)
 - 山口 利廣 (隣保館代表)
 - 橋田 鶴美 (保育園長等の経験者)
 - 上甲 カズ子 (宇和島福祉協会)
 - 上本 恵子 (保健福祉課)
- 【監事】 2名
- 丸身 和男 (学識経験者)
 - 岡村 俊男 (学識経験者)
- 【評議員】 25名
- 関本 豊 (議会代表)
 - 山口 武美 (延野区長)
 - 山田 史郎 (豊岡後区長)
 - 毛利 達晴 (豊岡前区長)
 - 須田 正文 (富岡区長)
 - 村田 和宏 (上家地区長)
 - 竹内 義文 (目黒区長)
 - 小西 敏文 (吉野区長)
 - 岡本 仁志 (藤生区長)
 - 藤岡 正之 (奥野川区長)
 - 山下 武久 (商工会代表)
 - 長谷 信昭 (保護司代表)
 - 小野 榮子 (民生委員女性代表)
 - 鶴本 好福 (老人クラブ連合会)
 - 毛利 正幸 (公民館の代表)
 - 松本 恵一 (松野町小学校長代表)
 - 杉本 光 (教育委員の代表)
 - 倉田 敦 (えひめ南農協松野支所長)
 - 安西 博志 (遺族会会長)
 - 藤城 嘉志子 (母子寡婦福祉協議会会長)
 - 山田 龍治 (NPOまちづくり青年会議代表)
 - 竹葉 誠 (古城園施設長)
 - 岡村 雅人 (フレンドまつつの施設長代理)
 - 久保田 忠 (町民課長)
 - 山崎 ルリ子 (行政相談員)



まつのだより 熱中症 予防

日常生活での熱中症予防のポイント

- 喉がかわかなくてもこまめに水分補給しましょう。
- 暑いときは無理をせず、涼しい場所で過ごしましょう。
- 熱帯夜も要注意！エアコンなどを上手に使いましょう。



暑さの感じ方は人それぞれで、大丈夫と思っていても熱中症になることがあります。屋内で発症するケースも多く、温度計や湿度計で室内環境を確認することも大切です。なんとなく元気がない、いつもと様子が違うなども熱中症の始まりの事もありますので、気分が悪くなった時・困った時の連絡先も確認しておきましょう。

地域の障がい者の社会参加と自立更生の促進を！



平成17年度から松野町身体障害者福祉協議会の役員を務めている功績が認められ、今年度、県身障連会長表彰（更生援護功労者）受賞となりました。地域のために長年、ご尽力下さりありがとうございます。改めて、受賞おめでとうございます！

今後とも皆さま、ご協力をよろしくお願いいたします。

岩城 義治氏

こまどりクラブ愛媛（県老連）会長就任



松野町老人クラブ連合会長としても活躍されている鶴本好福氏がこの度愛媛県老人クラブ連合会会長に就任されました。今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



+ 令和3年度日本赤十字社活動資金について +

今年もみなさまから多額の活動資金をお寄せいただきました。なお、この資金は日本赤十字社愛媛県支部に送金し、災害援護事業等に活用されます。松野町においても災害備蓄品の整備や各種講習会の実施等で活用されます。ありがとうございました。



令和3年度日本赤十字社活動資金実績 **614,000円(1,228件)** (R3.6末日現在)

新型コロナウイルス感染症にかかる生活福祉資金（特例貸付について）

社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対し生活費（緊急小口資金・総合支援資金）の貸付を行っています。詳しい内容は、愛媛県社会福祉協議会HPに掲載しています。

【 共同募金配分金事業 】

- 令和2年度の募金実績 一般募金745,010円 歳末たすけあい299,000円
- 皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。総事業費428,004円
 - ・ 専門業者による遊具の点検。 50,600円
 - ・ 地域食堂支援、災害時・介護予防備品整備、中学卒業記念品、サロンやボランティア活動における助成、子育て世帯へのイベント運営費用。 377,404円
- 歳末たすけあい運動 民生児童委員の協力により、町内外189名を対象に、見守りを兼ね訪問活動を実施。 299,000円

【 まごころ銀行運営事業 】

○町民の方々の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行なうとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

令和2年度の寄付受付状況

寄付目的	件数	金額 (円)	割合(金額比%)
地域福祉事業へ	10	400,000	32%
介護保険事業へ	2	40,000	3%
法人へ一任	30	820,000	65%
その他	0	0	0%
合計	42	1,260,000	100%

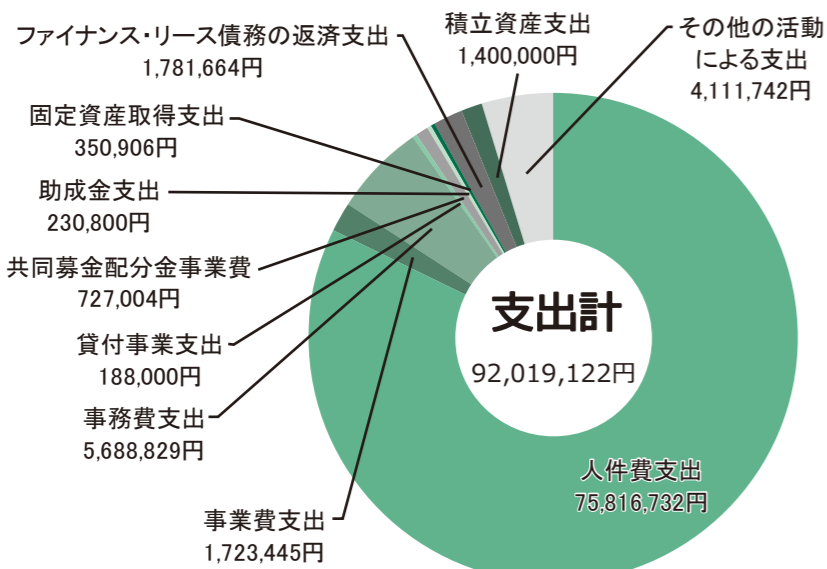
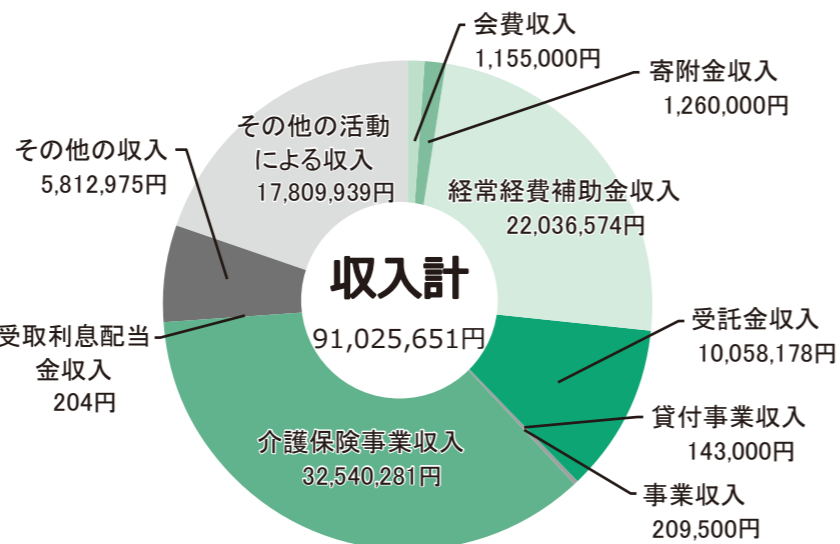
助成状況（公募）

・令和2年度 まごころ銀行助成金交付事業(公募) 申込件数0件

社協事業での活用

事業名	内容	活用額 (円)
地域福祉事業	活動費、広報費など	552,000
介護保険事業	活動事業費など	48,000
合計		600,000

【 収支決算 】



収支差額 -993,471円

詳しい内容はホームページに掲載しています。

<http://matsuno-syakyo.or.jp/>



事業報告 決算報告

令和2年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

【 法人運営事業 】

- 会議・各種大会の開催 敬老式の開催 少年の日を祝う会への助成
- 社協会費募集結果 総件数 1,117件 会費金額 1,155,000円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 社資募金額実績 590,200円

【 地域福祉推進事業 】

- 第1期地域福祉活動計画の推進 「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、5ヵ年計画の4年目にあたり、周知・広報に重点的に取り組むとともに、各地区の活動支援を行った。
- ボランティア活動の支援 ボランティアと地域課題を共有し、通学路清掃やコロナウイルス感染症予防対策の啓発として手づくり石けんを配布した。
- 福祉教育の取り組み ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みなとともに幸せに暮らしていくために必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業 町からの受託により生活支援コーディネーター業務を実施し、コロナウイルス感染症による生活や健康状態の変化・心配ごと等を調査した。
- 生活困窮者自立支援事業 県からの受託により「暮らしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。年間相談件数 256回
- ふれあい・いきいきサロンの支援 (町内10グループ) 情報交換、ふれあい、心身の健康づくりや生きがいづくりを目的とした住民主体の活動を支援した。コロナウイルス感染症の影響で開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をしあい、つながりを絶やさない活動を支援した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施 おおむね65歳以上の方を対象に、介護予防と自立的な生活が送れるよう、社会参加を推進し、健康講座や趣味の創作活動を支援した。コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をし、中止期間中は個別に電話で体調の聞き取りや訪問を行ったり、脳トレや体操のプリントを郵送した。(町内6会場、参加者53名)
- 子育て支援への取り組み ボランティアグループと協働し、遊びを通して世代間のつながりを深め、孤立を防ぐため、イベントを行った。
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間12回(内、弁護士相談2回/年) 年間相談件数 8件
- 成年後見人の実施 法定後見人として、被後見人の財産管理と身上監護を行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 貸付実績 34件 13,840,000円
- 小口資金貸付事業 貸付実績 11件 324,000円(令和2年度末貸付総額)

【 在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～ 】

- 居宅介護支援事業 利用者のケアプランの作成や相談支援活動を行い、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。
- 訪問介護事業(令和3年1月より事業休止) 生活援助や身体介護を行い日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めた。
- 訪問入浴事業(令和3年1月より事業休止) 移動入浴車にて、寝たきりの高齢者の身体機能回復や清潔を保ち、在宅福祉向上に努めた。